

特別対談 医学博士・科学者アーティスト 末武信宏 × 作曲家・ピアニスト・ヒーリングアーティスト エイコン・ヒビノ

日本発「究極の癒し」を世界へ届ける！

平成27年（2015）日本レコード大賞企画賞を受賞したヒーリング音楽の第一人者、エイコン・ヒビノ氏と、レオナルド・ダ・ヴィンチの再現を目指す科学者・医学博士・アーティストである末武信宏氏の特別対談が実現しました。日本が誇る感性と、科学、芸術、音楽の融合によって、次世代の「究極の癒し」を世界へ届けるためのプロジェクト「ダ・ヴィンチ・アート・プロジェクト」の始動です。

科学的にも証明された
周波数528Hzの
「究極の癒し」

末武／エイコン・ヒビノ氏とは、
自律神経というワードで運命的な
出会いがありました。

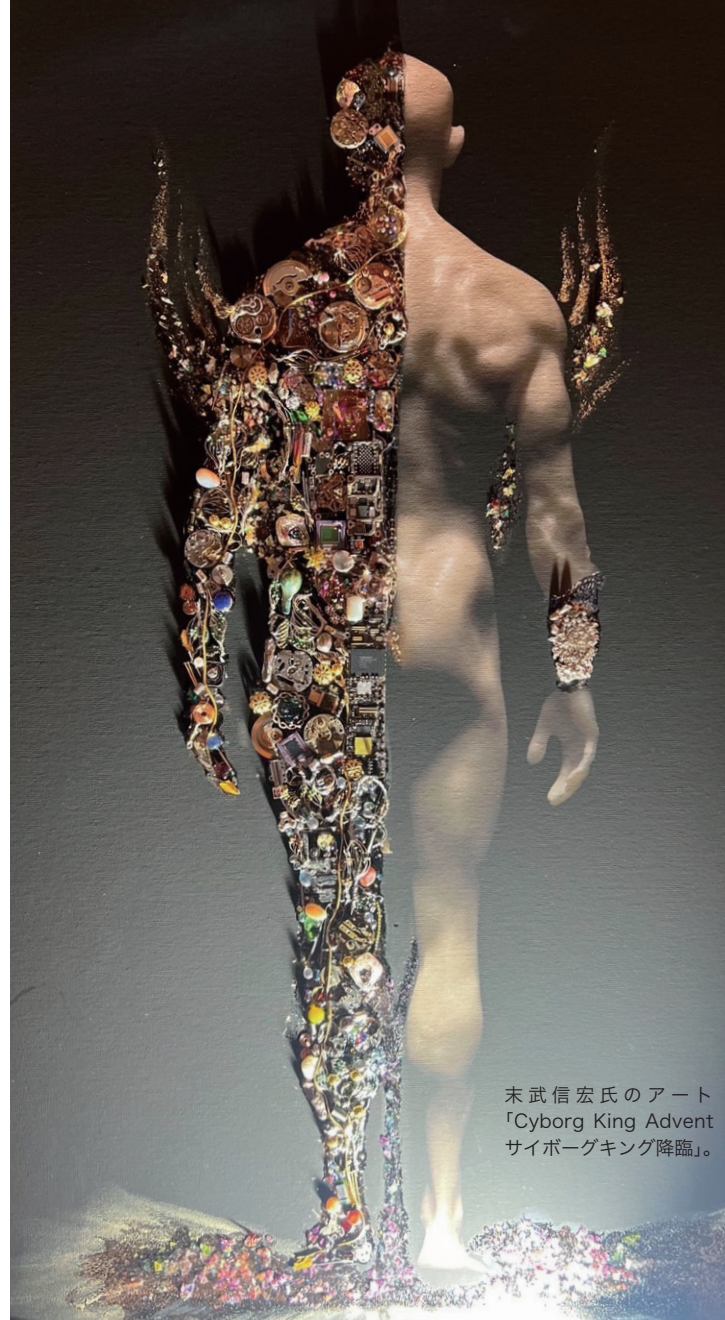
私は自律神経の研究で、順天堂
大学医学部で博士号の学位を取っ

ておりまして、自律神経とは簡単
に言うと、人間のソフトウェアで
す。人は考えること以外は、全て
自律神経がコントロールしていま
す。心臓を動かしたり、呼吸したり、
消化したり、代謝したり、体温や
血圧を調整したり……、無意識下
の全てのことを、生命を維持する
ためにコントロールしているのが

自律神経なのです。
その非常に重要な自律神経に影
響を与える、528Hzの周波数
の音を使った音楽をベースにして、
活動しているアーティストがエイ
コン・ヒビノ氏です。もちろん、
従来のピアニストの演奏にも美し
い音色や技術的な素晴らしさはあ
るのですが、それとはまた違った

音の効果、「倍音」
の効果がある、エ
イコン氏の演奏は
別格なのです！

その素晴らしさ
は、今まで体験的
には理解できても、
医学的、科学的な
証明はありません
でした。ですから、
順天堂大学医学部
の私の研究室で、
528Hzの音楽
の有効性を科学的
に証明したのです。



末武信宏氏のアート
「Cyborg King Advent」
サイボーグキング降臨。



左から末武信宏氏（さかえクリニック院長、順天堂大学医学部非常勤講師、アーティスト）、エイコン・ヒビノ氏（作曲家・ピアニスト・ヒーリングアーティスト）。

さかえクリニック院長
医学博士・アーティスト 末武信宏 (Nobuhiro Suetake, M.D., Ph.D.)

昭和37（1962）年1月10日岐阜県生まれ。昭和62年、岐阜大学医学部卒業。平成8年、さかえクリニック開業（外科、内科、皮膚科、形成外科、美容外科）。平成23年、順天堂大学大学院医学研究科博士課程卒業。トップアスリート株式会社代表取締役就任。令和5年、ヒューマンテクノ株式会社代表取締役就任。先端医科学ウエルネスアカデミー（AMWA）副代表理事、日本美容内科学会理事、日本美容外科学会認定専門医、日本肺活協会理事、重碳酸温浴NO普及協会理事、第88回日本美容外科学会会長、順天堂大学医学部 非常勤講師。
平成26年からアーティストとしての活動もスタート。令和5（2023）年11月24～26日、皇室御香華院御寺泉涌寺にて、世界的金箔アーティストのヒロト・ラクショウ氏と個展を共催。自律神経と迷走神経の研究をベースに、最先端の科学とアートの融合を目指す「The Da Vinci Art Project」を主宰。Nobu Suetake 公式サイト：https://nobu-suetake.com/main さかえクリニック：https://www.sakae-clinic.com
ヒューマンテクノ株式会社 :https://human-techno.jp/。

作曲家・ピアニスト
ヒーリングアーティスト エイコン・ヒビノ (Acoon Hibino)

周波数528Hzを使った音楽制作理論を確立し、その理論に基づき、日本はもとより世界の名曲を528Hzにてカバー、またオリジナル作品の作曲を進め「機能を持つ音楽」を作り上げる。平成27年（2015）1月ティクエンタテインメントより、フルアルバム『心と体を整える～愛の周波数528Hz～』でメジャー・デビュー。そのアルバムと『自律神経を整える音の処方箋～愛の周波数528Hz～』が第57回日本レコード大賞にて企画賞を受賞。令和2年（2020）11月17日より永魂メディカルミュージック株式会社を創業し、最高開発責任者（CDO）を務める。CDの楽曲とは異なり、より専門的な側面から作曲されたBGMサービス「聴く処方箋」をリリース（国内唯一、医学的に証明されたサービス）。多くの医療機関、寺社仏閣、リラクゼーション施設で導入実績があり。
エイコン・ヒビノ公式サイト：https://528hibino.com/

「愛の周波数
528Hzの奇跡

エイコン／最初、エビデンス
も何もありませんでした。しかし、
528Hzの音楽に興味を持た
れる方が多かったので、平成25年
（2013）から大阪で「528Hz
の音楽を聴く」というコンサートを
毎月開催しました。初めは少人数
でしたが、半年もするとすごい数
いたのです。
そして、この「倍音」を生かす
スケール（音階）の音を使って作
曲をしているのが、私の音楽です。
簡単に言えば、基本的には、全て
528Hzが発する「倍音」を繋
ぎ合わせて作っています。
末武／順天堂大学医学部の研究室
では、その528Hzの音楽と、
そうでない音楽を聴いた時の生体
の変化を、二項目で調べました。一
つは心臓の拍動の揺らぎ、心拍の
変動解析です。もう一つは、スト
レス等を感じた時に出る、唾液中
のストレスのバイオマーカーの量
を図って比較しました。
そして、明らかに528Hzの
音楽を聴かせた時の方が、優位に交
感神経が働いている。つまり、人
間の体が癒される方に傾いた、と
いう実験結果が出たのです。

エイコン／もともと私はミュージ
シャンをしておりまして……、演
奏者が楽器の調整をする時は、「ラ」
の音を440Hzの周波数に調律
することが、国際標準として世界
共通で決まっています。ずっと何
の疑いもなく、そうやっていたの
ですが、ある時ふとそこに疑問を
感じたのです。
実は440Hzにすると「倍音」
が出るのが少なくなります。「倍音」
とは聞こえない音であり、例えばピ
アノで「ド」の鍵盤を押した場合、
その音一つだけが鳴っているのだと
思われるでしょうが、実は同時に15
の聞こえない音が流れているので
す。この「倍音」を意図的に少なく
させるための決まり事のようなです。
一方で、「倍音」は周波数を3の
倍数にするとたくさん出るように
なり、「倍音」同士が当たり合い、
大きな広がりを持つ音域を作り出
します。試しに自分のグランドピ
アノの「ド」の音を、3の倍数で
ある528Hzに調律して演奏し
たところ、今までは全然違う弦
の響きが現れ、ものすごい音の塊
が生まれました。「倍音」は豊かな
音を生むのだ、ということに気づ

の人々がお越しになるようになってきて、そのうちレコード会社の人も来て、メジャー・デビューすることにもなりました。

末武／デビュー・アルバム『心と体を整える』愛の周波数528Hz』と『自律神経を整える音の処方箋』愛の周波数528Hz』が、平成27年（2015）第57回日本レコード大賞で企画賞を受賞しています。

エイコン／CDを購入された方々から、ペットの猫が寝る、犬が寝るといふ報告も次々寄せられるようになりました。何故こんなことになるのですか？ と聞かれ、「倍音」が生み出す豊かな音域が、犬や猫もリラックスさせることで、そういった影響があるのではないかと、思いました。

リクエストもあつたので、最初に犬用のCDを作って、41匹の犬に聞かせたら、みんな10分以内に寝てしまいました。ある獣医さんが仰るには、動物の世界で起こることは、ほぼほぼ人間の世界でも起こるのです、と。実際、コンサートでも、欠伸や鼾、寝落ちで携帯で落とす人、号泣する人、いろんなことが起こっていたのです。

牛舎の中で528Hzの音楽を聴かせ、牛の唾液中のコルチゾールを、その前後で調べるといふ研

究も、北里大学と東京大学のチームで行われました。やはり牛のストレスを緩和させることが分かり、出荷前のストレスの多い3年目の牛たちに聴かせよう、と畜産農家にも働きかけています。

末武／私の友人にも畜産関係者がいますが、ストレスの有無で肉の味も格段に違ってくるようです。

エイコン／赤ワインに528Hzの音楽を聴かせると、味わいがまろやかに変化するといった現象も報告されました。ただし、白ワインや酸化防止剤が入っているものは、あまり変わりません。添加物の入っていない赤ワインにすごく影響が現れたのです。他の飲料では、カルピスソーダもやはりすごくまろやかになりました。それらを踏まえると、水にも何らかの形で作用しているのではないかと、ということが分かってきたのです。

人間の体は60パーセント以上が水分ですので、やはり何らかの影響はあるのではないのでしょうか。

末武先生との出会いにより、順天堂大学医学部で実験を行い、エビデンスとまでは言えないけれども、人にも何らかの変化があることが科学的に証明されたのです。

末武／よく「癒しの音楽」とか言われますが、本当に癒されるのか、それは誰も証明していないこ

（吸入薬）やバームなど、嗅覚・触覚からのアプローチによる自律神経刺激法の研究も進行中です。また、アート作品を通じた視覚的な癒しと……、五感の全てに訴えかける統合的ヒーリングアプローチを追求しているのです。

エイコン・ヒビノ氏とは、528Hzの音楽を通じた、聴覚

とです。コマースリズムに走っている場合もある。しかし、この528Hzの音楽の「癒し」は、科学的に証明されたのです。

そのメカニズムは、まだまだこれからの研究テーマなのですが、音が物質に作用するという、量子力学的な可能性も考えられます。

そして、この528Hzの音楽に関する発信は、日本発でもありません。科学でも証明された本物の「癒しの音楽」というものを、もつともつと注目してもらいたいですね。

日本人はこんなにすごいものを創る！
「ダ・ヴィンチ・アート・プロジェクト」

末武／「究極の癒し」というものは、薬を飲んだり、注射したりして得られるものではないと思います。

体を癒すのは、心を癒さなければなりません。でも、心を癒すための癒しですね。

エイコン／おかげさまで、これまで多くの医療機関で採用され、全国各地の神社仏閣への音楽奉納も行ってきました。天河大辨財天社では、8年間連続で例大祭の奉納演奏をやらせていただきました。奈良の薬師寺では、その歴史上初の依頼を受けての音楽奉納でした。滋賀の蟬丸神社では、クラウドファンディングの返礼品として楽曲提供もしました。

末武／528Hzの音楽が、宗教的・精神的空間においても深く受け入れられていることを示していますね。

日本人の感性で、世界に「究極の癒し」を、新しいウェルビーイング（個人の心身と社会が共によい状態であること）を発信していきたい、と考えています。

海外に行つてよく分かったのですが、日本人の素晴らしさは、神々がすべての自然に宿るといふ、寛容性のある精神と、研ぎ澄まされた感性ではないでしょうか。だから日本人にはこんなすごいものが創れる！ と発信していきたいのです。そのためプロジェクトが「ダ・ヴィンチ・アート・プロジェクト」です。

レオナルド・ダ・ヴィンチは、13の作品しか残していないのに、世

めには、体も癒さなければならない。ですから、この両方を癒すには、体と心を繋いでいる自律神経を癒すのが一番効果的なのです。

そのためには様々なアプローチで、視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚の、五感を刺激することが理想です。ですから、五感を刺激し生体の機能を上げたり、「究極の癒し」を実現しようという、様々なプロジェクトに私も取り組んでおります。

人間のOSである自律神経、特に迷走神経に着目し、その活性化を促すためのデバイス・プロダクトの研究、共同開発を精力的に進めています。例えば、空気清浄機などの開発で知られる株式会社カドー

界最高峰と評価され、世界中の誰もが知っています。彼は解剖学者でもあり、工学者にも、天文学者にもなっており、なおかつ究極のアーティストなのです。そのダ・ヴィンチが、もし今世に生まれたらどんなアートを創るのか？ それを、医師であり、科学にも精通した自分が、再現できないかとチャレンジしています。ダ・ヴィンチを再現できたならば、世界的な評価にも繋がるのです。

そして、この「ダ・ヴィンチ・アート・プロジェクト」は、私一人が行うのではなく、素晴らしいアーティストたちとチームを作つて、日の丸を背負つて取り組んでいきたいと考えています。

もともとは、世界的金箔アーティストのヒロト・ラクショウ氏が、私の作品を評価してくれたことから膨らんでいきました。エイコン氏も音楽だけでなく、絵画を描かれており、とてもない感性の持ち主です。ずっと「究極の癒し」を求める活動をされていますので、ぜひ一緒にこのプロジェクトを、と思っております。

エイコン／よろしくお願いします。大阪・関西万博では、大阪パビリオンの9月の一ヶ月間の音楽を私が作っております。ぜひ、それも聴きにいらしてください！



エイコン・ヒビノ氏は、天河大辨財天社で8年間連続、例大祭の奉納演奏をしています。



末武信宏氏のアート「Hyper Nebula ハイパーネブula」。